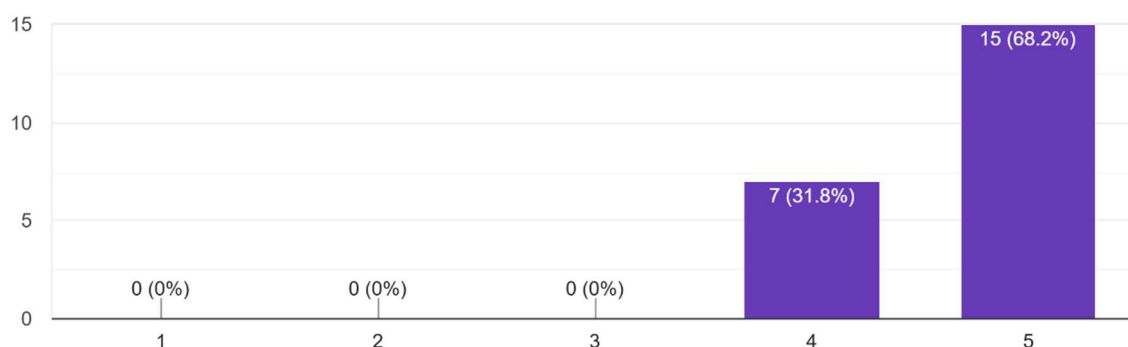


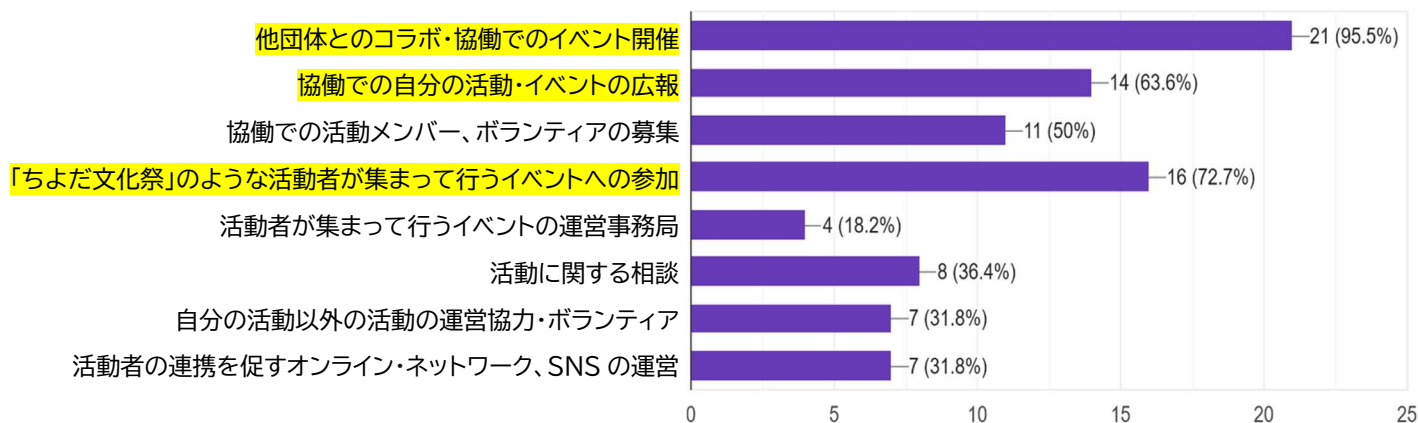
千代田区の活動の連携のこれからについてアンケート

回答 22 名

ご自身の活動にとって、区内での活動者との連携に意味や可能性を感じていますか？



千代田区の活動の連携のこれからについて、行ってみたい・してもいいかなと思うこと



自分自身が千代田区での活動の連携に期待すること、行ってみたいこと

- このようなイベントを小さい規模でもいいので、定期的に行いたい。行うことによって連携が強くなり、もっとおもしろいことができる気がする。千代田区の魅力を再発見する良い機会にもなると思います。行ってみたいことは、今回はワラージでしたが、眼の企画をしたい。実際に視力検査をして、どのぐらいの老眼なのかや、日常生活でどのぐらい見えているのか、一生見える眼でいるにはどうすればいいのか、啓蒙活動も含めてチャレンジしたい。
- 学生や地域団体とのコラボによる地域課題解決
- やってみたい！を形にするプラットフォームの創設
- 様々な団体や個人が有機的につながることでの思わぬところに発露する相乗効果を期待したいです。
- ”暮らす街が、社会が、少しでも良くなるように、というささやかな思いから、自分がやりたいことを自分ができる形にして地域で活動をはじめました。そしてその活動をはじめたことで、同じように地域で活動する個性に溢れた素敵な皆さんとの出会いに恵まれました。
- 変わらない自分の思いがありながらも、新しい出会いから感じるインスピレーションもあり、自分の思いも大切にしながら、人との関わりからうまれてくるアイデアや、人との関わりがあるこそ広がる実現可能性を活かし、助け助けられながら、柔軟に活動していけたらと考えております。”
- ”新しいコラボレーションと、お互いの活動の広がりを期待しております。
- また、連携先の紹介や提案を希望致します。
※ 今回、参加者リストの大妻女子中学校校長の梶取先生のコメントに、コーラスでの協力というのを拝見し、是非、千代田区歌をコーラス部の皆様に歌っていただきたいと思いますので、お繋ぎいただきますたいです。”
- 誰も見捨てない社会の創生
- 町会活動はそれぞれ歴史的背景や属人的要素が強く、他の町会とのコラボを行う上での障害になっていると思います。それをこうした連携活動により、各町会の良いところを取り入れていくことが出来ていくものと思います。
- 産官学が共に連携できると環境づくりができないかと期待しています。
- 運営しているサークルの活動者を増やしたいため、他団体やサークルとの交流
- 地域の力を活用したり連携したイベントや講座などを企画したい
- 自身の団体運営の活性化。歴史を学べる機会”
- 活動を連携させてもらう事で町会活動を活性化させていきたい
- 連携活動の評価
- 大和ハウスが運営する 39base について、より使ってもらえるよう認知度向上や連携を深められればと思っています。
- より地域の方、特に地域の中学、高校に通う学生と関わりを持ってみたいです。
- 地域の学生に電力供給の授業を実施

千代田区での活動の連携を活性化するには？

- 今回のラボライブのように、参加者とのご縁を大事にすること、ここで終わるのではなく、このご縁をもっと太くし、連携を活性化させるには、型にはまることなく、お茶会や井戸端会議のような、ゆるい感じで集まれるような場が定期的にあると良い。
- 一歩踏み出すため、地域企業スポンサード促進・補助金活用などの啓蒙
- 我々のプラットフォームからより多くの仲間や団体、企画が見つかることで、より多くの連携が取れる環境が整います。
- ”様々な会合(寄りあい)を様々な拠点で実施するとよいと思います。
- 区役所等での集まりが多いですが、千代田区には様々な施設などがありますので、そこを知り、体験しながら会合をおこなったりすると視点が変わってつながりも増えるかもしれません。”
- 各々やりたい事あるのは承知しておりますが、今ある地域課題の解決に焦点をあてる事が重要かと思っています。各町会、各氏子青年会、消防団、区商連、商工連、まちみらい千代田等、既存地縁団体との繋がりが重要と考えます。
- 各団体が、「協力できること」「協力して欲しいこと」をリスト化して、区内の皆様にみていただけるようなものがあると、その活動を必要としている人にも届き易くなるかもしれないと思いました！
- まずは知ってもらうこと
- 他の団体での取組情報を広く知らせる
- 可能な範囲の情報提供と、ゆるいコミュニティ。
- ちよラボさんへの参画が初めてのため、他の皆さんがどのようなことを考えて取り組みをされているのかこの機会に知りたいです
- お互いのことを知る。顔見知りになること。イベントの開催
- 場づくり オンライン含めたネットワーク
- それぞれのグループの活動内容を公表し、特長や強み、求めているものを共有する。
- 連携活動の評価(PDCA サイクルの可視化)
- 公園や道路などを使いやすくなる仕組みづくり
- 千代田区に住む人だけでなく、企業に勤める、学校に通う人も巻き込む活動を行うこと。
- 活動内容や連携例の細かな情報発信
- 決まった仲間以外への発信・より大きな場所でのイベント

今年度のちよラボの活動は？

- 周知が難しいので、ホームページや広報だけでなく、SNS の動画（Tiktok や you tube）で活動をアピールできたらいいなと思う。
- 来場者数増加
- 活動されている個人、企業、団体様のご紹介
- 例年通りのご活動を期待します。
- 上記の既存コミュニティと新設コミュニティとの間に壁を感じるのでコミュニティラボにはその壁を取っ払う役割を期待いたします。
- "地域活動の的確なアドバイスだけでなく、地域コミュニティが活性化するきっかけの場も提供してくださり、ちよラボさんの存在は大きな支えです。
- 22 日参加が難しく、また連携のテーマからも外れますが、助成金がある状態でスタートした活動が助成金がない状態へ移行する際、活動を変わず継続していくためにできる工夫などありましたら、お伺いしたいです。設問の主旨からも外れますこと、お許してください。"
- 現在、助成金を受けながら無料で体験活動を実施しておりますが、数百円でも参加費があっても運営できるようにできるノウハウや、会場を提供していただける企業や団体を紹介、繋がりができるように相談に乗っていただきたいです。
- 様々な取組みについての情報交換
- 運営しているサークルの活動者を増やしたいため、他団体やサークルとの交流を活性化させる取り組み。
- 新たな交流が生まれるきっかけになればよいと思っています。
- "各団体をつなぐ 団体紹介
- なかなか参加できていませんが、応援しています。冊子も素晴らしい取組みだと思います。"
- 各団体の情報のデータベース化
- 上記の発信
- 今年度で一度活動に区切りがつくとのことでしたので、ぜひ今後の連携も含めてお話しできればと思います。
- より繋がりを持ちたいと考えています。
- 区の関連施設や商業施設での大規模イベントの開催